

NISSHA 株式会社
「2020 年 12 月期 WEB 決算説明会」
質疑応答の要旨
(2021 年 2 月 12 日開催)

- Q1. 2021 年度の業績予想について、各事業部の売上高と営業利益が 2020 年度の業績結果からどのように変化するかを説明してほしい。
- A1. デバイス事業の製品需要は、上期は堅調に推移するだろう。下期はスマートフォン向けが減少する見込み、IC チップの不足による影響など、継続的に需要動向を注視していく。産業資材事業は 2020 年比で全体的に横ばいで推移する見込み。メディカルテクノロジー事業は開発製造受託（CDMO）の需要が回復、自社ブランドは大きく変化しないだろう。2020 年の調整額の損失は為替差損の影響で増加した。
- Q2. メディカルテクノロジー事業の M&A のターゲット領域はどのようなものか。
- A2. さまざまな領域を視野に入れており、また機会がある。社会課題の解決に資する領域を優先して選択していくことになるだろう。
- Q3. メディカルテクノロジー事業の収益性について説明してほしい。
- A3. CDMO の収益性が高く、今後は CDMO を拡大して全体の収益性を高める考え。また、デバイス事業の IT 機器向けの加工技術や産業資材事業の成形技術とのシナジーを活用し、CDMO で提供する製品の価値を高めていく。

以上